

り全線を通る路線を新設せよ②公共施設や病院等を結ぶ循環ルートを新設せよ。

市長 ①今後、検討したい。②調査研究していきたい。

議員 市民センター周辺地区整備に伴い、市役所前のバスベイの拡充・機能強化を図るべきだ。所見を問う。

第二副市長 現状では困難だが、今後、検討したい。

議員 味の素スタジアムへ

多くの市民が行けるようなバス路線の整備が必要だ。

都市整備部長 特段のニーズがある状況ではない。

議員 他市の事例を参考に、井口西地域や天文台南地域、井の頭地域等、道路が狭い交通不便地域へ、定時定路型乗合タクシーの導入を検討してはどうか。

都市整備部長 事例を検証し、可能性を検討したい。

商店街をコアにしたまちづくりの展開を望む



政新クラブ 加藤 浩司 議員

議員 商店街を取り巻く環境は厳しく、停滞・衰退の要因は多様かつ複雑だ。三鷹市では、少子高齢化や個店の後継者不足に加え、吉祥寺や都心が近いという立地条件が要因と考える。安全安心や教育の観点からも市内商店街の役割は今後ますます重要になる。商店街の役割について所見を問う。

市長 商店会などが主体的にまちづくりに関与し、商店街がコミュニティの核となることを期待している。

議員 「暮らしに密着した商店街」はまちづくりのキーワードだ。町会やコミセン等との連携を一層強化し

た商店街を、まちづくりのコアに活用してはどうか。

市長 産業振興だけでなく、高齢者福祉、地域環境やコミュニティ活動など多様な視点から検討して取り組むことが重要だと考える。

議員 むらさき商品券事業は、市税を投入する以上、効果を継続的に検証していかなければならない。事業の目的や検証結果などについて市長の所見を問う。

市長 商店会・商工会の組織力の強化や市内の各産業を結びつけるなどの効果があつた。商店等の活躍を支援しつつ消費者にプラスとなる商業振興に努めたい。

適切な学校運営、財産活用で学校環境のさらなる発展を



政新クラブ 渥美 典尚 議員

議員 市内の中学校では、生徒の体格にかかわらず旧JIS規格での特号または1号(適応身長100cm以上)の机とイスを使用してい

る。着座姿勢は良好な成長・成育、疲労度や学習効率に多大な影響を与える。適切な机とイスの使用について校長への指導が必要だ。

教育部長 適正サイズに十分注意するよう各校長に指導し、改善を図りたい。

議員 五中の遺跡発掘調査の終了をどう判断したか。

教育長 専門的判断に基づき、新体育館の建設工事によってその下の遺跡の損壊がない深さで終了とした。

議員 三鷹の財産である遺跡や発掘品の展示公開にジブリ美術館等の優れたノウハウを活用してはどうか。

教育長 指摘の点を踏まえ

て展示方法を工夫したい。

議員 教職員による校内データの持ち出しは、職場のパソコン台数の不足が要因でもある。市内公立学校のパソコン配備状況を問う。

教育部長 全教員に配備し講師等の利用を考慮して各学校に2台追加配置した。

議員 教職員による校内データの管理状況を問う。

教育部長 パソコン機能を制限し、情報管理に関する明確な基準も定めている。

熱中症対策にあらゆる手立てを



政新クラブ 伊東 光則 議員

議員 夏の猛暑の影響で、熱中症による健康被害の増加が社会問題となった。本市での熱中症による救急搬送は、7月に10件あったと聞く。熱中症対策として、

①市民への啓発を強化せよ

②保育園での対応を問う。

市長 ①市の広報・ホームページ、安全安心メール等を通じ、引き続き注意喚起に努める②散歩の時間帯、園庭での日陰の確保、帽子の着用等に留意している。

議員 光化学スモッグの多発による健康被害も懸念される中、注意報等の広報のあり方について、現状と課題、今後の取り組みを問う。

防炎無線や安全安心メール、ホームページ等を活用しており、今後も速やかな情報発信に努めたい。

議員 学校での児童・生徒の熱中症対策として、①夏休みに際しての対応を問う

②十分な塩分摂取が大変重要だ。給食等で工夫せよ。

教育長 ①熱中症の未然防止の徹底を図るよう、校長会等を通じて注意喚起した

②今後、十分検討したい。

議員 まちづくりにおける暑さ対策として、街路樹による木陰の創出や雨水を利用した打ち水を検討せよ。

市長 指摘の点をまちづくりに反映していきたい。

家族の「絆」、地域で支え合う社会の再生を



政新クラブ 伊藤 俊明 議員

議員 高齢者の所在不明など地域社会からの孤立に起因する様々な問題が表面化

した。家族の「絆」、地域で支え合う社会の再生が必要と考える。高齢者の見守り

活動について所見を問う。

市長 地域ケアネットワークの活動を市民と協働して進めてきた。より多くの市民にコミュニティの活動を「見える化」していきたい。

議員 児童・生徒のいじめや不登校の問題は、教員個人の資質に頼るだけでなく

組織として対応すべきだ。

教育長 教員研修等において認識を深めるとともに、総合教育相談室やスクールカウンセラーなどと連携する中で解決していきたい。

議員 児童虐待を疑った教員の半数が児童相談所に通報していなかったとの報告がある。学校での児童虐待の発見・対応について問う。

教育部長 学校が虐待への認識等を一層高めて、虐待にかかわる情報の共有を徹底するように指導したい。

議員 三鷹駅の電車発車メロディーとして、中田喜直氏作曲の「めだかの学校」が流れている。市制施行60周年を契機に「めだか」を市の魚に制定してはどうか。

市長 前向きな問題提起として受け止めたい。



人事院勧告の動向と定年延長の課題を問う



政新クラブ 穴戸 治重 議員

議員 人事院は平成22年度国家公務員一般職の給与について、50歳台後半層の給与水準を重点的に抑制するなど、引き下げ改定を勧告した。今回の人事院勧告に対する市長の所見を問う。

市長 昨今の厳しい社会経済情勢を反映したものと言撃に受け止めている。今後、

系をとることは難しい。人事任用制度の有効活用により職員満足度を高めたい。

議員 今回の人事院勧告では定年延長について指針が示された。高齢社会が進む中で職員の定年延長は必要と考えるが、高齢期の雇用には人事管理・給与体系等に課題がある。所見を問う。

市長 国や東京都等との対応のバランスを図るとともに、業務の効率性や人件費抑制の視点を踏まえて検討していきたい。この点については、市民の視点も大変重要だと認識している。

その他の質問 三鷹市職員の退職者数の変化について

多様な価値観を受け入れる「憲法」平和「事業」の展開を



政新クラブ 吉野 和之 議員

議員 8月に戦没者追悼式・平和祈念式典が行われた。平和は全市民の願いだが、平和とは何か、単に戦争等がなければ平和と言えるのか、原点に返り、考えるべきだ。式典で市長が述べた積極的平和について問う。

市長 積極的平和とは戦争等の直接的暴力がない状態を一步進め、世界共通課題である環境や差別等の解決を含めた考え方である。

議員 市は「憲法・平和事業」という言葉を用いているため、憲法を守ることが平和だと考えているように聞こえる。一方、平和を守るために改憲が必要だと考

える市民も多い。多様な価値観を持った市民が事業に参加するため「憲法と「平和」を別事業にすべきだ。市長 根本的な理念では、双方は共通すると考える。

議員 憲法改正は国民の意見が拮抗する問題であるため「憲法を記念する三鷹市民の会」も護憲と改憲、両方の考え方を受け入れるような広がりが必要だ。同会の現状、今後について問う。

市長 同会の目的は憲法の啓発と普及だ。今後も市民と協働で事業を進めたい。

その他の質問 男女平等参画事業/全国共通学力テストについて

三鷹の未来に向けたまちづくりの推進を



政新クラブ 石井 良司 議員

議員 都市計画は市町村が主体的に行うべきだ。三鷹市が目標とするまちづくりのイメージについて問う。

市長 緑に恵まれた質の高い住環境の創出と豊かな地域社会の形成が目標だ。

議員 人口増は住環境等に多大な影響を与える。市内にはマンション建設可能な土地が多く、建設による人口増を懸念する。マンション建設の影響をどのように分析し、対応していくのか。

市長 人口増に伴い、子育て支援施設の不足等が考えられる。人口抑制や一定規

模以上の事業計画への地区計画制度の導入を行う。

議員 市内の国有地等売却される話があり、今後のまちづくりへの影響は大きい。国・都との体制づくりや政策誘導等の対策を問う。

市長 大規模な売却の前には、国・都から照会が来ることになっており、事前協議により環境に配慮したまちづくりへの誘導が可能だ。

議員 マンション建設等に伴い、事業者対住民、住民対住民の紛争、コミュニティの分裂が心配だ。市は今後、どのように対応するか。